



## HSMニュース

## メンバー紹介

今回は、当社に加わった豊富な経験と“腹”を持った、とても頼もしいベテランニューフェイスをご紹介します！

氏名： Exor Cremen Nicolas (エクソール クレメン ニコラス) / 52歳

出身： フィリピン・マリキナ市 (マニラの東にある製靴産業が盛んな街)

家族： 妻1人(公称)、子供3人(公称) ※家族はフィリピンにおり、現在は赤穂市で単身赴任中

経歴： 約5年の船員経験の後、フィリピンにある日系の船舶管理会社で27年間勤務。

海務・工務・船員・安全管理・事業部など、色々な部署で幅広く経験を積んできました。

50歳を過ぎた頃から、今後のキャリアを考える様になり、新たな挑戦の場を求めているところ、偶然がきっかけで、元同僚である小職と再会を果たすことになり、思い出話に花を咲かせる中で、ぜひ日本に行き、新たな環境で新たな挑戦をしたいとの意志が示される様になりました。私も、彼の能力、人柄を十分理解しておりましたし、彼からの強い意欲を感じたこともあり、2024年10月より当社で働く事となりました。

趣味： これといって趣味や特技の様なものは無いらしく、結局、仕事が趣味で特技になってしまっている様です(私と一緒にですね！)。また、たまの休みに、自転車で色々な場所を巡るのは好きとの事で、赤穂の町を巡回している様です(既に見尽くしてしまった様です...)。私と同じでとても真面目な人間なので、あまり考え過ぎずに、たまには息抜きもして、赤穂でのシングルライフを楽しんでもらえればと思います。



船舶管理の質向上には、人材の充実が必須です。当社においても人材確保・育成は重要課題としており、その様な中で、船舶管理会社での豊富な経験を持ち、日々管理業務を広く見渡せる人材である彼が加わる事は、当社にとっても非常に有意義で効果的です。前述の通り、彼とは以前の会社で長年同僚でお互い若い頃より良く知った仲でもあります。私がフィリピン駐在していた頃には、同じ事務所で一緒に働いていた事もあり、仕事においても人間的にもとても信頼のおける人物です。きっかけは偶然でありましたが、若い頃に一緒に働いていた彼と約20年の時を経て、お互いの中身も腹も成長した姿で、こうやってまた一緒に働けるといっても大変嬉しく、感慨深いものがあります。彼が新たな戦力として加わった事により、当社の管理体制もより一層充実する事になりますので、改めて質の向上に向けて、邁進してまいりたいと思います。



## 導入事例

## SHiP+AiD(シップエイド)



今回は、弊社で導入している「SHiP+AiD(シップエイド)」について紹介したいと思います。

船舶においては、大小様々なトラブルが日常的に発生します。これらのトラブルに対応する為、本船には色々な資材や補修剤が常備されていますが、それらを適切に管理し、トラブル発生時には、瞬時に適切な補修剤を選び適切な方法で使用しなくてはなりません。

それらの課題を解決してくれる便利なツールが、今回紹介する「シップエイド」という“船の救急箱”です。これは、当社も日頃より大変お世話になっている「株式会社エヌワイ」殿

(<https://www.ny-tokyo.com/>) が提供している船舶用補修剤キットの事であり、船で必要とされる補修材が一つにまとめられております。各種配管(水・空気・海水・油)の漏れや破損、ひび割れや穴の補修、減肉した箇所への補強、溶接の代替補修、等々あらゆる箇所にあらゆる方法で補修対応が可能となります。

弊社における最近の例としては、DO filling pipeに漏れが発見され、緊急的に同キット内補修用パテ及びテープを使用して補修対応致しました。

やはり、様々な補修材が一つにまとまって整理されており、在庫管理や緊急時の使用において大変使い易く効果的であると感じています。興味のある方はぜひ検討してみてください！(<https://www.ny-tokyo.com/business/shipaid/>)



これ一つで船のあらゆる補修が可能に！



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していきます。

皆さんが日生方面へ出張される際の合間にちょっと寄り道したり、休日にふらっと出かける参考にして頂けるような場所をご案内していきたいと思っております！

わいわい

## くわ散歩 第7回: 赤穂で「和」と「伊」のハーモニーを楽しむ夜…創作料理 和伊和伊

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣等のまだ知られていない穴場やオススメのお店など、様々なスポットを紹介いたします。

今回は、赤穂市内で定期的にご利用させて頂いているお勧め居酒屋をご紹介します。



今回ふらっと立ち寄ったのは、日生の隣町、兵庫県赤穂市にある「創作料理 和伊和伊 (わいわい)」というお店です(住所:兵庫県赤穂市惣門町52-1)。

JR播州赤穂駅からは約700mで徒歩10分程度、赤穂中央病院のすぐ近くにあるお店で、赤穂の主要な飲食店街からはちょっとだけ離れています。隣の塾にちょっと隠れているので、場所がわからない方は、地図アプリを使って訪問してみてください。



店内は、席数も多くなくこぢんまりとしていますが、とてもアットホームな雰囲気です(写真の席の他、写っていない場所にもテーブル席が2つ用意されています)。

このお店は、メニューの種類も豊富な上、ハズレが無くどれを食べても美味しいんです。また、いつ伺っても店員さんも愛想良く、楽しいひとときを過ごすことができます。

(おっと、奥に髪型が目立つ先客が1人いますね…)



ビールと合わせて食べるのは、あらびき包みのでっかいメンチカツ(420円)です。

大きさも嬉しいですが、したたる肉汁と、さすがイタリアンにもこだわりのあるお店で、デミグラスソースが美味しいんです。大きいですが、一人1個でもペロっと食べられます。



エビマヨ(850円)です。大きなエビがプリプリ！見て満足食べて大満足の逸品です。



このお店は「新鮮系」メニューも、少数精鋭ですが、ツボを押さえたメニュー構成となっています。

これは地鶏白レバー(肝刺し)880円です(写真は2人前)。ごま油と塩で頂くのですが、新鮮で臭みもなく、とろける美味しさでした。このほか地鶏のたたきや馬刺しもあるなど、とても充実しています。



茄子とチキンの辛々焼(780円)も大変美味でした。味付けも絶妙でお酒が進む進む…



そしてこの日締めで食べたのが、生ハムのペペロンチーノ(980円)なのですが…正直悔ってました、すみません。酔いも覚める位の美味しさ。これだけ食べに来たいかもと思う美味しさでした。

ちなみに口コミを見るとオムライスも美味しいとの事です。デミソースも美味しかったので、多分間違い無いですね！



値段もリーズナブルで夜にお酒を飲みながら楽しむのにお勧めです。また、ランチ営業もしているそうなので、日生へお越しの途中お昼に寄るのもいいかもしれません。和もイタリアンもいいとこ取りで楽しめるお店ですので、皆さんも是非ご利用してみてください。

それでは、次回のくわ散歩でまたお会いしましょう！

このイラストより写真の方がお腹出てない…？



くわ散歩の  
よしみち

急に始めた不定期プチコーナーです。ここでは以前紹介したお店について、追加の情報がある時などに紹介したいと思います！

今回は、HSM通信第50号(2024年5月)くわ散歩第1回で紹介した、日生の「ごはん家 ぼろ小屋」です。以前から何故か「ドラえもん」の遊具だったもの(?)が置いてあったのですが、先日伺ったとき、なんとその前に「どこでもドア」が！まるで目の前に本当にドラえもんがいるようで、思わずテンションが上がり写真を撮ってしまいました。日生にお越しの際は、ぜひこの「映えスポット」に寄り道してみませんか。





## ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。  
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思います!

こんばんは！締切りに間に合わず泣きながら一人事務所で本誌を執筆している中年アル中メタボオヤジです。  
今回は、私が最近たまたま目にして感銘を受けたある大学教授の話についてご紹介したいと思います。  
結構有名な話の様で、ご存知の方も多くいるかもしれませんが、非常に面白い話だったのでピックアップしてみました。  
皆さんはどの様に感じるでしょうか???

### 「ある大学教授の“壺”の話」

#### ■ この壺は満杯か？

ある大学でこんな授業があったという。

「クイズの時間だ」

教授はそう言って、大きな壺を取り出して教壇に置いた。その壺に、彼は一つ一つ岩を詰めた。壺がいっぱいになるまで岩を詰めて、彼は学生に聞いた。

「この壺は満杯か？」

教室中の学生が「はい」と答えた。

「本当に？」そう言いながら教授は、教壇の下からバケツいっぱい砂利を取り出した。そして砂利を壺の中に流し込み、壺を振りながら、岩と岩の間を砂利で埋めていく。そしてもう一度聞いた。

「この壺は満杯か？」

学生は答えられない。一人の生徒が「たぶん違うだろう」と答えた。

教授は「そうだ」と笑い、教壇の下から砂の入ったバケツを取り出した。それを岩と砂利の隙間に流し込んだ後、三度目の質問を投げかけた。

「この壺は満杯になったか？」

学生は声を揃えて、「いや」と答えた。

教授は水差しを取り出し、壺の縁までなみなみと水を注いだ。彼は学生に最後の質問を投げかける。

「僕が何を言いたいのかわかるだろうか？」

一人の学生が手を挙げた。

「どんなスケジュールが厳しいときでも、最大限の努力をすれば、いつでも予定を詰め込むことは可能だということです」

「それは違う」と教授は言った。

「重要なポイントはそこではないんだよ。この例が私たちに示してくれる真実は、大きな岩を先に入れない限り、それが入る余地は、その後二度とないということなんだ」

君たちの人生にとって「大きな岩」とは何だろう、と教授は話しはじめる。

それは、仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家庭であったり、自分の夢であったり……。

ここでいう「大きな岩」とは、君たちにとって一番大事なものだ。それを最初に壺の中に入れなさい。さもないと、君たちはそれを永遠に失うことになる。

もし君たちが小さな砂利や砂、つまり、自分にとって重要性の低いものから壺を満たしていけば、君たちの人生は重要でない「何か」に満たされるものになるだろう。そして大きな岩、つまり自分にとって一番大事なものに割く時間を失い、その結果、それ自体を失うだろう。

ということで、いかがだったでしょうか？

皆さんはこの話を読んでいく途中で、この話のポイントに気づきましたか？

私は完全に、間違っただけで答えた生徒と同じ考えが頭に浮かびました。

生徒は「スケジュール」と言いましたが、私は、スケジュールだけでなく、「どんな事も自分でこれで完璧、これで終わり、と思っても実はまだまだやる余地がある、まだまだやれる事がある、自分が思った以上に限界はまだ先にある」という様な事が頭に浮かびました。

しかし、この話のポイントはそこではなく「優先順位」のことであり、「ちゃんと優先順位を決めましょう」という教訓でした。

確かに優先順位は大事ですね。

でも一方で、間違っただけで生徒さんが言われていた「意外と予定は詰め込める」というのも、同様に私が感じた「自分が思った以上に、やろうと思ったら結構やれる」みたいな話も、そんなに大きく間違っていない様にも思いました。

が、しかし「キツくて出来ないと思っても、実際は詰め込もうと思ったら結構いけるよね」みたいなことは、やっぱり実際には長く続きしないのかもしれない。

また、頑張れば何でも出来るわけでもありませんし、本当に一杯一杯になった状態で詰め込もうとしても、無理なものは無理ですしね...

頑張っただけで無理して詰め込んでいっても意外とうまくいくかもしれませんが、気付いた時には、壺の中には小さな砂利や砂、水で一杯になってしまっているかもしれません。

やっぱり、この話で得られる「大事なものは最初に選ぶ」という優先順位が大事であるという教訓が重要なのでしょう。

一番最初のデカイ岩は、後から入れることは出来ません。

人生にとって一番大事だと思うものは、まず一番最初に入れた方が良い。

さもないと、もう二度と入らないでしょう。壺の中身を入れ直す(人生をやり直す)なんてことは、当然不可能ですからね。大切なことは、壺の大きさや中に入れられる量じゃなく、入れるものの大きさと入れる順序なんですね。

とはいっても実際には、その時その時に、今自分の手元にある石はどれくらいの大きさと、壺の隙間はどれだけ残っているのか、なんて中々考えられませんよねー。

なので、私は、この話から優先順位が大事だという事は改めて認識する事が出来ましたので、それらを教訓にしながら、出来るだけめっちゃめっちゃ詰め込んでいきたいと思えます！自分らしく。

結局は、いつか自分の壺が満杯になった時に、自分自身がどう感じるのか、という事だと思えますので、悔いなくやるのが良いかと思いました。

皆さんはどう感じましたか？

でもやっぱり優先順位って大事ですよ。

今さら聞けない

## 海運基礎知識 「MOAについて」

今回は、「MOA」について概略を説明したいと思います。

本誌の読者におきましても、船主様や管理会社様においては、この書類を度々目にすることもあり、良くご存知かと思いますが、そうでないと中々見る事もないかと思っておりますので、少しでも触れていきたいと思っております。

### MOAとは？

- ・MOAとは、Memorandum Of Agreementの略で、船舶の売買契約書のことを言います。
- ・内航の場合は「内航船舶売買契約書」という書式があり、外航船の場合は、英語の契約書であるMOAを使用します。
- ・MOAの標準書式としては、(社)日本海運集会所が制定したNIPPONSALE 1999という書式が一般的に良く使われます。これは、最初1965年に制定され、その後1971年、1977年(私が生まれた年)、1993年、そして1999年に改定されてきたもので、現在の最新がこの1999となります。

### MOAの構成は？

- ・MOAは、大体一般的には、3部構成になります。
- ・前述のNIPPONSALE 1999においては、Part I部とPart II部の2部構成となっており、そこに更にPart III部として売主・買主間で追加で定めた事項をRider clauseとして取り決めております。
- ・Part I部については、売主及び買主の詳細や船舶の詳細、引き渡しの時期や場所、船価、等々の主要な16項目が記載されており、Part II部においては、更に詳しく、支払い方法や引き渡し書類、引き渡し時の条件、水中検査等々について15項目の条件が定められております。そして、Part III部となるRider Clauseについては、Part II記載の項目について更に詳しく取り決める内容や、さらに追加で取り決める条件などを記載することになり、その時の売主・買主間での取り決めにより内容も変わってきますが、項目としては大体15-16項目位になると思います。

### MOA(Rider Clause)の内容は？

Rider Clauseについても、大体一般的な内容は同じになってきますので、代表的な項目のみ抜粋して列記致します。

- ①Payment ( 売買成約後の支払い条件や支払方法について取り決めます。Deposit:前払金とBallans money:残金のそれぞれの額(割合)や支払方法、諸条件について記載されます。)
- ②Documentation ( 引き渡し時に、売主及び買主それぞれが相手に提供する書類についての条件が記載されます。提出する書類詳細については、Addendumとして別途取り決められる事が殆どです。)
- ③Delivery Place & Time ( 文字通り、引き渡しの場所と時間についての諸条件が記載されます。)
- ④Delivery Condition ( 条約証書や船級証書等含めた引き渡し時の状態についての諸条件が記載されます。)
- ⑤Dry-Docking & UWI ( 売主が本船をドックに入れなくて引き渡す代わりに、買主は水中検査を実施する権利を有する為、そのUWIや万が一船底に損傷等が発見された場合の諸条件について記載されます。)
- ⑥Belonging & Bunker ( 引き渡し時の本船の付属品や燃料・LO等についての諸条件について記載されます。)
- ⑦Exclusion from the Sale ( 売主固有の物で売船に際して売主により引き揚げられる物等について記載されます。)
- ⑧Familiarization ( 習熟の為に、買主のRep (通常は船機長) が一定期間乗船する為の諸条件が記載されます。)
- ⑨Cancellation of Inmarsat ( 引き渡しに際し、売主が現在のInmarsat-CのIDを無効にする事について記載されます。)

以上、非常に簡単ではありましたが、「MOA」について、その一般的な内容を説明させて頂きました。

また機会がありましたら、実際の文章例も挙げて注意点等も踏まえて更に詳しい説明を行いたいと思っております。

以上